

## 平成 22 年度第 7 回 (通算第 38 回) MT 委員会 議事録

日時: 11 月 19 日 13:30-15:00

場所: 仁科記念棟 2F 会議室 (201 号室)

出席: 酒井<sup>a</sup> (委員長)、阿部<sup>a</sup>、福西<sup>a</sup>、Henning<sup>a,†</sup>、神原<sup>a,†</sup>、加瀬<sup>a</sup>、久保<sup>a</sup>、久保野<sup>b</sup>、森本<sup>a</sup> (森田代)、  
櫻井<sup>a</sup>、下浦<sup>b</sup>、寺西<sup>c,†</sup>、上野<sup>a</sup>、上叢<sup>a</sup>、若杉<sup>a</sup>

欠席: 延與<sup>a,†</sup>、上垣外<sup>a</sup>、森田<sup>a</sup>、本林<sup>a,†</sup>、吉田<sup>a,†</sup>

<sup>a</sup>RNC / <sup>b</sup>CNS / <sup>c</sup>UEC / <sup>†</sup>observer

(順不同・敬称略。以下同様)

### 【報告】

#### 1. <sup>48</sup>Ca シリーズビームタイム (BT) 実施状況報告

- 加速器状況報告 (福西)
  - RRCのMDC2真空槽が損傷した。
  - IRC-NW共振器の最終グリッド用電源が故障した。
  - <sup>48</sup>Caイオン源試料がシリーズの途中で尽きた。消費率 2.4 mg/h は前回シリーズ時の 0.7-1.0 mg/h よりもずっと早かった。予備の<sup>48</sup>Caロッド(70% enrichment) に交換中。
- BigRIPS 報告 (久保)
  - 10日ほど前にRIBF棟 B3F地下階で冷却水漏れが発生した。
  - 二次ビーム生成の調整中にBigRIPSチームとユーザーとの間でコミュニケーション不足による摩擦が生じている。コミュニケーション向上に努める
- <sup>48</sup>Ca キャンペーン進捗状況 (櫻井)
  - キャンペーンがはじまって既に二週間経つが、上記の理由により、まだ 24 時間分しか BT を消化していない。
  - <sup>48</sup>Caビーム加速は11月24日(水)に復旧させたい(加瀬)。
  - Machine-Time コーディネーターとキャンペーンコーディネーターによって実験スケジュールの調整が行なわれる。もし、非常に弱い強度のビームしか供給出来ない場合、キャンペーンは打ち切り、代わりにチャージストリッパーの開発実験を入れる (酒井)。

#### 2. MT変更 (酒井)

- NP0906-RIBF03 (P. Fallon *et al.*) の条件つき採択分をキャンセルした。

#### 3. PAC 進捗状況 (上野)

- 8<sup>th</sup> NP-PAC (12/3-5 開催)
  - PAC委員へ今回申請のあった20課題についてpre-review依頼 (10/26)。
  - 所内技術審査結果を実験代表者&PAC委員へ送付 (10/27)。
  - PAC会合プログラム案を所内担当者、実験代表者へ送付 (11/01)。
  - 2010年3月31日までに終了したNP-PAC 採択分ビームタイムに関する論文作成の進捗状況報告を該当実験代表者へ依頼し(10/28)、報告書集をPAC委員へ送付 (11/16)。
  - 来年度初頭の時点でBacklog となることが明らかな実験課題のうち、BT が割り当てられる可能性のある <sup>48</sup>Ca, <sup>124</sup>Xe, <sup>238</sup>U ビーム利用課題について、前回PACで導入された新評価方式に基づく再評価をPACへ依頼 (11/09)

- 7<sup>th</sup> ML-PAC (1/11-12 開催)
  - 11/9に募集を開始した。締め切りは12/9。
- 3<sup>rd</sup> In-PAC (2011年1月開催に向けて調整中)
  - 実験課題申請はweb に説明のある通り随時受付(神原)。

## 【議題】

### 1. 前回議事録承認(酒井)

### 2. FY2011上期 BigRIPS関連実験の先行MT割り当て募集について (酒井)

- 様々な不確定要素があるため、FY2011上期のBigRIPS-BTについては、先行募集はやめて、他BTと一緒に後日(1月中旬を予定)募集することとした。
- 春の<sup>124</sup>XeコミッションングのMT計画について議論があった。
- 次年度上期の<sup>48</sup>Caビーム割当の可能性について議論された。<sup>48</sup>Caビームの実験を割り当てるためには、BigRIPS機器故障時の交換修理作業が高残留放射線下でも行えるよう、実験前にすべてのピローシールが導入されている必要がある。詳細は次回議論される予定(久保)。
- 8ヶ月運転に向けた技術的問題の検討
  - 優先度1である<sup>238</sup>Uと<sup>124</sup>Xeに続き、Krビームを優先度2として準備できるかどうか議論された。
  - チャージストリッパー開発が必要となるため、次年度は大強度Krビームの供給は難しいとの見解(福西)。

### 3. ML-PAC申請課題の所内技術審査(上野)

- 8th NP-PACと同様、7th ML-PACに申請されたRIBF施設関連実験課題についても所内技術審査を行こととした。

### 4. MT委員会委員の変更(酒井)

- 阿部RNC 応用研究開発室長が神原氏と交替し委員に就任。
- 神原氏は、今後、共用促進産業連携部副部長 産業連携担当としてオブザーバ参加。

### 5. 次回MT委員会の日程

- 次回MT委員会は 12/17(金) 13:30-15:00 で調整。

(以上)